

★~★★★

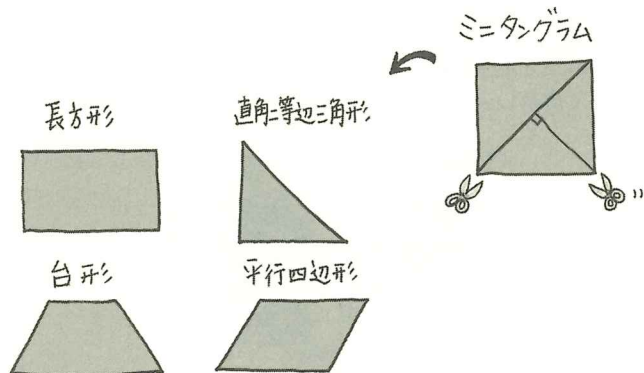
タングラム

タングラムは、正方形や長方形を、さらに三角形や台形などに細かく切りはなしたものを使い、人や動物などいろいろな形を作る遊びです。

まず小手始めに、折り紙を3枚に切りはなした「ミニタングラム」を使って、形作りをしてみましょう。

【やってみよう】

- ①下の図のように、折り紙の2ヵ所を切ります。
- ②3枚の直角三角形でいろいろな形を作ってみましょう。



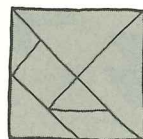
- ③形を作る時に、紙を重ねてはいけません。

さて、いよいよ本格的タングラムに挑戦です。ここでは、中国式タングラムを使って、いろいろな図案に挑戦してみましょう。

絵の輪郭だけで、その並べ方を考えていきます。「知恵の板」というぐらいですから、頭をフル回転させないと、なかなか思い通りにならないかもしれません。でも、あせらずにじっくりかまえて、形遊びを楽しんでください。

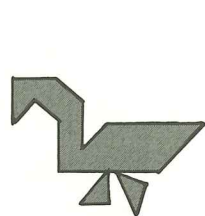
【やってみよう】

- ①厚紙で15cm×15cmの正方形を作り、図のような線を入れてていねいに切ります。
- ②図案例をみながら並べ方を考え、いろいろな形を作ってみましょう。

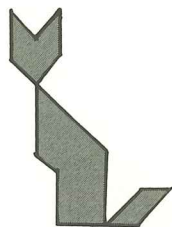


中国式
〈七巧八分図〉

図案例



鳥



ねこ



ロケット



初心者マーク



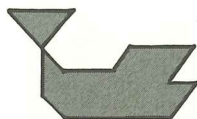
花びん



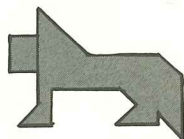
山



いえ



くじら



ライオン

学びのワンポイント

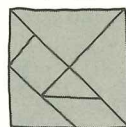
この遊びは、大昔から世界中で楽しまれていたようです。かのナポレオンもタングラムの愛好者だったとか。中国では4000年前から、また日本では「清少納言知恵板」と呼ばれ、平安時代からあった遊びといわれています。

現代では、円や卵型などのものもありますが、広く親しまれているのは、中国の「七巧八分図」、日本の「清少納言知恵板」、そして、「セブン・ワールズ」または「ラッキーセブン」と呼ばれている西洋式の3種類です。不思議なことに、これらは偶然にも、どれもみな7枚の板に分けられています。

中国には、一生涯をかけてこのタングラムの図案を考え、1500種類も生み出した女性もいたそうです。

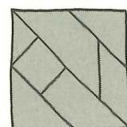
たった7枚の板からどんどん世界が広がっていきます。みなさんも、作っている途中で、また新たな形を発見してみてください。

中国



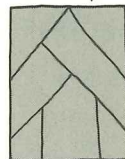
〈七巧八分図〉

日本



〈清少納言知恵板〉

西洋



〈セブンワールズ〉